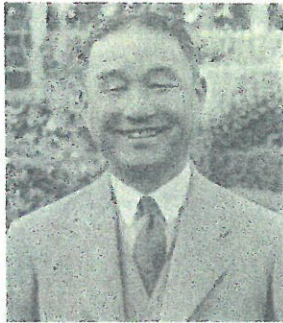


## ◆郷土の偉人 野村洋三を知ろう

8月号の広報でお知らせしました、町の出身で実業家として現在の横浜発展の礎を築いた「野村洋三」さんを広く知っていただくため、ご紹介します。

### 【特別寄稿】太平洋の架け橋となって活動した野村洋三の物語

町文化財保護協会 理事 清水 洋



**まえがき** 野村洋三は大野町出身で、明治、大正、昭和の三時代に、日本貿易の中心として栄えてきた横浜を舞台に、日本と外国との架け橋となって活躍した日本屈指の大実業家です。

このたび筆者旧知の小川弓男氏（洋三氏のおい）にご協力をいただき、郷土の

英雄、誇りである洋三氏の生き様をご紹介します。

**生い立ち** 野村洋三は明治3年（1870年）八木村（現在の大字公郷）で、父兵作と母さくらの長男として生まれました。洋三は幼名を梅太郎と言い、向学心が強く、勉強が大好きで、いろいろな書物を読みあさる村でも評判の少年でありました。いつか外国へ渡り、成功して帰ってきてやると心に決めていました。

**悪戦苦闘する若き梅太郎** 14歳になると大阪、京都に出て、実践英語を学んだ後、翌年、東京専門学校（のちの早稲田大学）入学、国民英学会などでも実用英語を学びました。明治23年（1890年・洋三21歳）静岡の製茶業「富士商会」の海外視察の通訳としてアメリカに渡りました。この時、西洋に旅することから「洋三」と改名しました。アメリカ国内各地を巡り、多くの貴重な体験を積み、翌年、ニューヨーク中央鉄道会社社長のチャーレス・パーソンを訪日の通訳と案内役をすることになり帰国しました。帰国の船中で、新渡戸稲造（当時29歳）に出会い、強烈な感銘を受け、洋三のその後の人生に影響を与えました。帰国後、母親さくが亡くなっていたことを聞き、愕然としました。心機一転再出発を誓い、再び渡米したがうまく行かず、約1年後、不安と焦燥に悩みながら帰国しました。その後も、悩みは治まらず、新渡戸稲造の勧めもあり鎌倉の円覚寺で座禅修行を行うことになりました。

**釈宗演との出会いと「サムライ商会」の開業** 円覚寺管長の釈宗演との親交が深まる中で、洋三の迷いや悩みは徐々に緩和されました。落ち着きを取り戻した洋三は、新渡戸稲造との会話を思い出し、日本とアメリカを結ぶその橋の役目を自



サムライ商会再現ジオラマ

分の生涯の仕事としようと思いを固めました。日本にあこがれ、日本旅行の記念として、ほとんどの外国人が求める日本の美術品の商いをして日本の良さ、素晴らしさを外国人に知らせようと思いつきました。店の名前は武士道を商法とする「サムライ商会」とし、明治28年（1895年・洋三25歳）、横浜で開店しました。

外国人客には奇抜な店構えと商品の高品質と低価格、それに誠実な対応が受けて大繁盛しました。一方で洋三は目立った工芸品の作者の経済的支援にも積極的に取り組み、多くの作家を育てました。

**原富太郎（三溪）との出会い** 釈宗演の紹介で日本庭園「三溪園」を作った岐阜県出身の原富太郎とも知り合いになり、多くの美術品の取引、日本の要人や外国人の紹介などを通じ親交を深め、横浜の発展にも二人協力して貢献しました。

**「ホテル・ニューグランド」の経営** 大正12年（1923年）の関東大震災でサムライ商会の全てを失いましたが、翌年、再建するとともに、昭和2年（1927年）、震災後の横浜復興のシンボルとなったホテル・ニューグランドの建設に原らとともに携わりました。昭和13年（1938年）、推挙されて68歳でホテルの会長に就任しました。しかし、サムライ商会店舗は昭和19年（1944年）5月の横浜空襲で爆破されてしまいました。昭和20年（1945年）8月、終戦と同時にホテルは進駐軍の司令部に接收され、連合軍最高司令官マッカーサー元帥がホテル・ニューグランドに宿泊しました。ホテルにいた洋三は婦女子の安全確保と食糧供給を願い出ました。それにより、数日後、大量の放出物資が市民に届けられました。戦後、横浜日米協会会長、神奈川県商工会議所会頭、日本商工会議所副会頭など多くの要職を歴任し、昭和39年（1964年）勲三等瑞宝章を受章しました。太平洋の架け橋となって日本と西欧諸国との文化交流と横浜の発展に一生を捧げ、昭和40年（1965年）95歳で亡くなりました。

### 講演会「郷土の偉人 野村洋三を知ろう」

#### ◎演題・講師

#### 1) 「原三溪と野村洋三との出会い」

講師：村上 義紀さん

（元早稲田大学副総長・常任理事）

#### 2) 「祖父 野村洋三と横浜」

講師：野村 弘光さん

（野村洋三令孫・ホテルニューグランド取締役）

#### 3) 「人物顕彰と人づくりからまちづくり、そして地方創生へ」

講師：所 功さん

（京都産業大学名誉教授・法学者・歴史学者）

◎日時 9月17日（土）午後1時30分～

◎場所 総合町民センター 多目的ホール

◎入場料 無料

問合せ先 生涯学習課 ☎ 34-1111

（お詫びと訂正）広報おおの8月号において、次のとおり誤りがありましたので、お詫びし、訂正します。

（正）

（誤）

講師 野村 弘光さん 野村 光弘さん